

令和
7
年度

いとしぼのあまり 4



みなさん、
いっしょに べんきょう
しましょうね。



ことばのきまり
イメージキャラクター
ことちゃん

目次	一	漢字辞典 <small>じてん</small> の使い方	1
	二	ことわざ・故事成語 <small>こしせいご</small> を使う	6
	三	文の組み立てと修飾語 <small>しゅうじご</small>	9
	四	つなぐ言葉	15
	五	じゆく語の意味	21
	六	百人一首に親しもう	25
	七	同じ読み方の漢字	28
	八	かなづかい	31
	九	文末 <small>ぶんまつ</small> の言い方	33
	十	伝わりやすい文	34
	十一	ローマ字の書き方	37(2)

表紙 岡崎

カット

豊川幸
橋谷田

浅井 優子先生
成田 綾香先生
鳴田 佑子先生
大須賀貞治先生
中村 僚志先生
河合 桂子先生
地宗 雄志先生



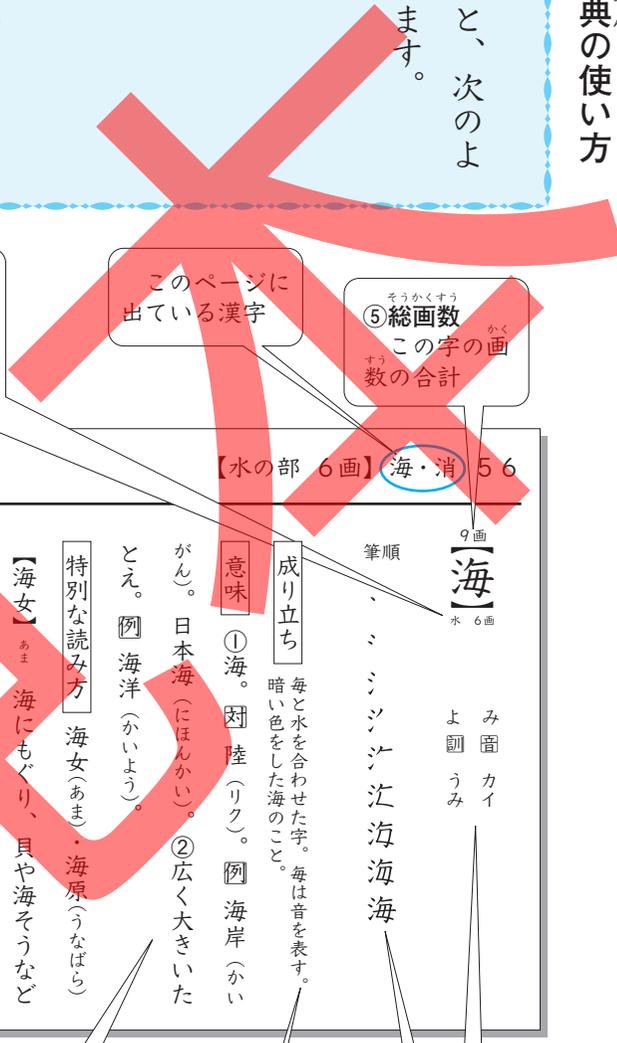
月3回本



一 漢字辞典の使い方

漢字辞典を使うと、次のよう
なことが分かります。

- ① 漢字の読み方
- ② 筆順
- ③ 成り立ち
- ④ 意味
- ⑤ 総画数
- ⑥ 部首・画数
- ⑦ 調べた漢字が一字目にくる言葉とその意味
- ⑧ 調べた漢字が二字目にくる言葉の例



⑥ 部首・画数
この字の部首は「さんずい」。部首さくいで引くと「水の部」になります。総画数から部首の画数をのぞいた画数が「6画」になります。

このページに出ている漢字

⑤ 総画数
この字の画数の合計

【水の部 6画】海・消 5 6

9画
【海】
水 6画

筆順
、ミシシシ 江 海 海 海

成り立ち
①海。因陸（リク）。例 海岸（かいがん）。日本海（にほんかい）。②広く大きいとえ。例 海洋（かいよう）。

意味
①海。因陸（リク）。例 海岸（かいがん）。日本海（にほんかい）。②広く大きいとえ。例 海洋（かいよう）。

特別な読み方
海女（あま・海原（うなばら））

【海女】あま 海にもどり、貝や海そうなどをとることを仕事にしている女の人の。

【海鳴り】なみ 台風が近づいているときに、どに沖の方からかみなりのような音が聞こえること。また、その音。

【海外】がい 外国。海の方こうにある国々。

【海路】かい 船の通る道。船の旅。例 海路イギリスへ行く。因 陸路（りく）。空路（くう）。

◎ 内海（うちかい）・航海（かい）・深海（しんかい）・大海（たいかい）

⑧ 調べた漢字が2字目にくる言葉の例

⑦ 調べた漢字が1字目にくる言葉とその意味

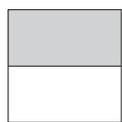
④ 意味
一つの漢字でも意味は、いくつかあることがあります。似ている言葉が書かれていることもあります。

③ 成り立ち
この漢字がどうやってできたかが分かります。

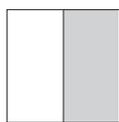
② 筆順
① 読み方
音読みと訓読みが分かります。音読みはかたかなで、訓読みはひらがなでしめされます。



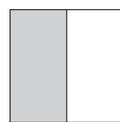
(一) 次の漢字の部首の名前を調べて書きましょう。



かんむり



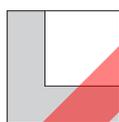
つくり



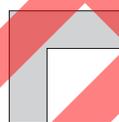
へん

┌──────────┐			┌────────┐		┌──────────────────────────┐				
10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
答	家	薬	歌	数	記	続	科	泣	伝
((((((((((

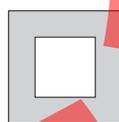
((((((((((
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---



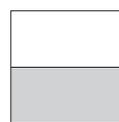
によ



たれ



かまえ



あし

┌────────┐		┌────────┐		┌────────┐		┌────────┐	
18	17	16	15	14	13	12	11
起	週	原	庭	開	国	意	点
((((((((

((((((((
---	---	---	---	---	---	---	---





「部首さく引」で漢字を調べましょう。

① 漢字の部首を見つけます。

② 部首の画数を調べます。

③ 部首さく引のその部首の画数の所から部首をさがし、そのページを開きます。

④ 同じ部首の漢字は、画数の少ない順にならんでいます。

部首以外の画数を調べて、その字をさがします。

その漢字がそのまま部首になっていることもあります。(例 欠・血・文)

見てみよう



「漢字辞典の使い方」



(二) 漢字辞典を使って「作」を調べましょう。

1 漢字の部首は

2 部首の画数は

画

3 部首さく引のその部首の画数の所から部首をさがします。

4 部首以外の画数は

画

その字をさがします。

5 調べて書きましょう。

「作」が使われている言葉	画	読み方
	画	読み方
	意味	「なりたち」





「音訓さく引」で漢字を調べましょう。
音訓さく引では、漢字の読み方を五十音じゅんでならべています。音読みはかたかな、訓読みはひらがなで書かれています。
調べたい漢字の音読みや訓読みが分かれば、音訓さく引を使ってさがすことができます。

(三) 音訓さく引を使って次の漢字を調べましょう。

起		階		漢字
				部首
				総画数
訓	音	訓	音	読み
				使われている言葉



「総画さく引」で漢字を調べましょう。
一つの漢字の画数を全て数えたものを総画数と言います。部首が分からなくても、総画数が分かっているれば、総画さく引を使ってさがすことができます。

(四) 総画さく引を使って次の漢字を調べましょう。

後		細		教		漢字
				のぶん ぼくづくり		部首
				十一画		総画数
訓	音	訓	音	訓	音	読み
				おし(える) おそ(わる)	キョウ	
				教室 教育		使われている言葉





漢字辞典じてんで漢字を調べるときは、自分にとって分かりやすい引き方で引くとよいでしょう。

① 部首が分かるとき ↓ 部首さく引

② 読み方が分かるとき ↓ 音訓さく引

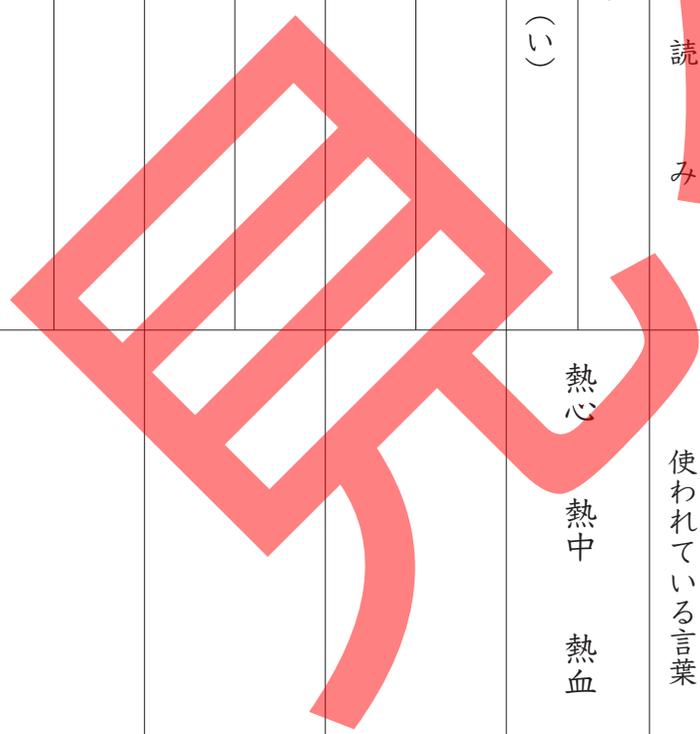
③ 画数が分かるとき ↓ 総画さく引

自分が調べたい漢字について、知っている情報じょうほうの条件じょうけんに合わせて三つの引き方を使い分けられるようにしましょう。

(五)

- ① 部首さく引を使って調べる。
 - ② 音訓さく引を使って調べる。
 - ③ 総画さく引を使って調べる。
- 今までに学習した三つの引き方を使って、今までに習った漢字を調べてみましょう。

重		登		神		熱 <small>例</small>		漢字
						れっか れんが		部首
						十五画		総画数
訓 <small>くん</small>	音	読み						
						あつ(い)	ネツ	
						熱心 熱中 熱血		使われている言葉
						①		調べ方





二 ことわざ・故事成語を使おう

① 「あれ、今日はみんなと出かけるんじゃないの？」
 「うん、でも、ねぼうしちゃったんだ。起きた時にはもう『あとの祭り』だったよ。」

② 「友だちにもらったくじで、一等賞が当たったよ。」
 「まさに『たなからぼたもち』ね。」

『あとの祭り』『たなからぼたもち』のような言葉をことわざと言い、わたしたちの日じょう会話や文章の中で数多く使われています。ことわざは古くから人々に言い伝えられた言葉で、わたしたちが生活していく上で欠かせないちえや教えなどをふくんだ短い言葉です。

(一) いた意味を表すことわざを調べて線で結びましょう。

- | | | | |
|---|-------------|---|-----------|
| 1 | ひょうたんからこま | • | たなからぼたもち |
| 2 | 石橋をたたいてわたる | • | ぬかにくぎ |
| 3 | のれんにうておし | • | 急がば回れ |
| 4 | せいては事をしそんじる | • | 浅い川も深くわたれ |

(二) 次の意味を表すことわざを から選んで記号で書きましょう。

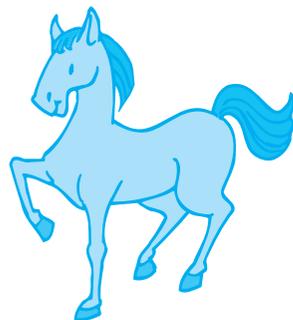
- | | | |
|---|---------------------------------|-----|
| 1 | 事前に注意しておけば、失敗しないですむこと | () |
| 2 | 自分がしたあやまちがもつて、自分にふりかかったさいなんのたとえ | () |
| 3 | いきおいがともさかんな様子 | () |
| 4 | 少しばかりのえん助や努力では、全くききめがないこと | () |

- | | |
|---|---------|
| ア | 飛ぶ鳥を落とす |
| イ | 転ばぬ先のつえ |
| ウ | 焼け石に水 |
| エ | 身から出たさび |



(三) 次のことわざは、どんな意味を表しているでしょうか。また、にた意味のことわざには、どんなものがあるでしょうか。調べて書きましよう。

<p>○ ○</p> <p>(にた意味のことわざ)</p>	<p>かっぱの川流れ</p> <p>(意味)</p>
<p>○ ○</p> <p>(にた意味のことわざ)</p>	<p>馬の耳に念仏<small>ねんぶつ</small></p> <p>(意味)</p>



調べてみよう



ことわざ・慣用句の百科事典
「ことわざ検索」





わたしたちがふだん使っている言葉には、昔の中国の話がもとになってできた言葉があります。それは、歴史上の事実やたとえ話などがもとになっていて、**故事成語**と言います。



矛盾

【もとになった話】

昔、矛と盾を売っている者が、自分の矛は何でもつき通せるし、盾はどんな矛でもふせぐことができると言った。そこで、話を聞いていた人が、その矛でその盾をついたらどうなるかとたずねた。

【意味】

前に言ったことと、後に言ったことがくいちがうこと。つじつまが合わないこと。

(四) 次の故事成語は、どんな意味でしょう。調べて書きましょう。

1 推敲 ()

2 背水の陣 ()

3 蛇足 ()





三 文の組み立てと修飾語

文には、「あたま」と「からだ」にあたる部分があります。



文の「あたま」

(だれが) (何は) (だれも) に

あたる部分を**主語**といいます。

文の「からだ」

(どうする) (どんなだ) (何だ)

にあたる部分を**述語**といいます。



主語と述語を見つけましょう。

主語には ————— を、述語には ————— を引きましょう。

美しい 夕日が 海に しずむ。

述語は、ほとんど、**句点**(。)のすぐ上にあります。

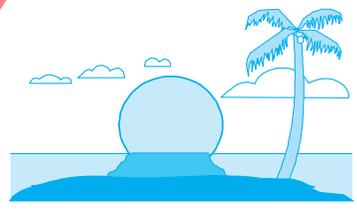
だから、「しずむ」が**述語**ということが分かりますね。

主語には、たいてい「**が・は・も**」がついています。

述語から考えて、「だれが」、「何が」をさがすと**主語**を見

つけることができます。「しずむ」の何がをさがすと、

「夕日が」が**主語**だと分かりますね。



(一) 例のように、主語には——を、述語には——を引きましょう。

〔例〕 白い 花が 花だんに さいた。

1 大つぶの 雨が とつぜん ふってきた。

2 おばあさんが わたしに かわいい かばんを くれた。

3 わたしの 町のお祭りは とても にぎやかだ。

4 ぼくの 持っている 筆箱は 新しい。

5 教室には、 つくえが たくさん ある。

6 おりの 中に 大きな ライオンが いた。

7 タンポポは とても じょうぶな 植物だ。

8 日本で いちばん 高い 山は、 ふじ山です。





述語

述語

① 火事だ。

② 今日、算数の本を わすれました。

このように、文の中には主語のないものもあります。①の文は、「家が 火事だ。」の主語を省りやくしたと考えることができます。また、②の文は、「わたしは、今日、算数の本を わすれました。」の主語を省りやくしたと考えることができます。省りやくしても、相手に伝えることができるときは、主語を省りやくすることができます。

(二)

——の述語に対する主語はどれでしょう。主語に——を引きましょう。

文の中に主語がないときは、省りやくされている主語を——から選び、()の中に記号で書きましょう。

1 公園で 子ねこを 拾った。

2 ぼくは この ゲームを 買ったよ。

3 つくえから 落ちて われました。

4 学級の 係を 決める 日です。

5 風で たくさん まい落ちる。

ア	イ	ウ	エ
明日は	友達が	葉が	コップが





きみの 弟は かわいい。

ぼくは 友達と 遊んだ。

とても ゆかいな 人だ。

「きみの」「友達と」「とても」「ゆかいな」のように、文の中で使われることによって様子をくわしく表したり、動きやじょうたいをくわしく表したりする言葉を修飾語と言います。

(三) 次の文の — を修飾している部分を

の中から選んで書きましょう。

1 わたしは、ひとりで ()

() 立っていた。

2 () 日ざしが、大地にふりそそぐ。

3 かん者さんの中には、 () 熱を出す人もいる。

4 タ立が () ふった。

5 () 音楽がへやの中に流れている。

高い
あたたかい
楽しげな
さびしく
はげしく



(四) 次の文の~~~~が修飾している部分をさがして~~~~を引き、~~~~で示しましょう。

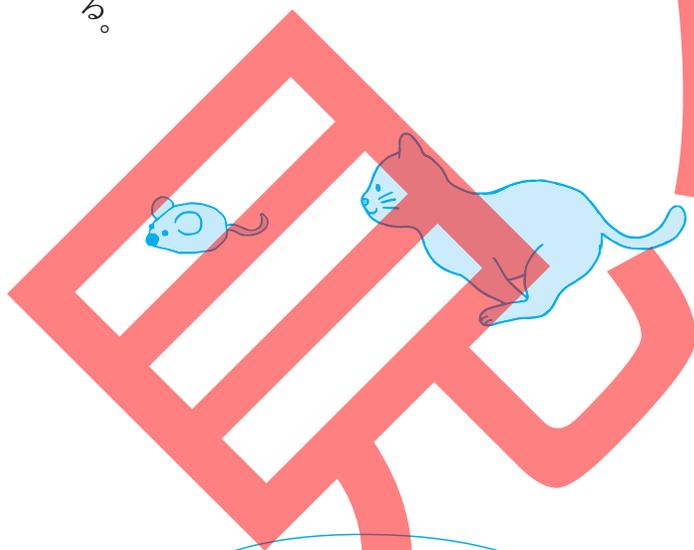
〔例〕わたしは、新しい言葉をたくさん覚えた。

1 ねこがねずみを追いかける。

2 にぎやかな町が静かになった。

3 姉は、中学校を卒業した。

4 青い空に白い雲がうかんでいる。



一つの言葉をいくつかの修飾語でくわしくする場合、修飾語を別の言葉が修飾する場合もあるよ。



5 兄が本をわたしにくれた。

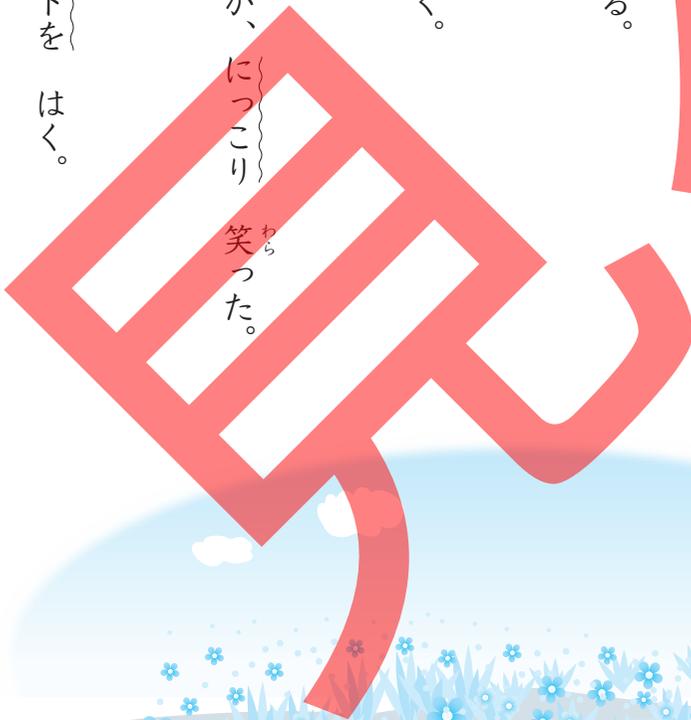
6 美しい花が一面にさく。

7 川が、おだやかにゆったりと流れる。

8 空一面に星がきらきらとかがやく。

9 赤い服を着たかわいい女の子が、にっこり笑った。

10 妹がお気に入りの水玉のスカートをはく。





四 つなぐ言葉

雨がやんだ。だから、空はまだ暗い。

おや、どこかおかしな文ですね。

「雨がやんだ」と「空はまだ暗い」の二つをうまくつなぐため、

雨がやんだ。けれども、空はまだ暗い。

としたらどうでしょうか。意味のつながりが分かりやすくなりました。

弟は転んだので、泣かなかった。

これもつながりがおかしいですね。

「弟は転んだ」と「泣かなかった」がうまくつながっていませんね。

弟は転んだのに、泣かなかった。

こうしたらどうでしょうか。意味が分かりやすくなりましたね。



右の文の、「だから」「けれども」のように、前後二つの文をつないでいる言葉を**接続語**といいます。文と文をつなぐ言葉には、「ので」「のに」のように、二つの文をつなげて一つの文にしているものもあります。



(一) 意味の通る正しい文にするには、どの言葉を使ったらよいでしょう。よいもの一つを○で囲みましよう。

1 春になった。

だから、
しまし、
つまり、

ふく風はまだ冷たい。

2 頭がいたい。

それに、
つまり、
ところが、

おなかもいたい。

3 頭がいたい。

だから、
けれども、
また、

体育は見学する。

4 雨がはげしくふってきた

ので、
の、
のに、

今日の運動会は中止になってしまった。

5 一位をとろうと思って、がんばって走った

けれども、
ので、
から、

三位になってしまった。

6 今日の夕食はカレーにしようか。

けれども、
それとも、
そして、

オムライスにしようか。





(二) 次の二つの文は、どのようなふうにつながっているでしょうか。

の中から選んで、記号で答えましょう。

1 弟はとても生意気だ。しかし、とてもかわいい。

2 風がはげしくふいてきた。そのうえ、雨までふってきた。

3 旅行の行き先は山にしようか。それとも、海にしようか。

4 ぼくは、がんばってなわとびの練習をした。だから、二重とびができるようになった。

()

()

()

()

ア 前の文と反対のことをのべる

イ どちらかを選ぶ

ウ 前の文につけ加える

エ 前の文の結果をのべる

文と文をつなぐ言葉は、前の文と後の文をつなぎ、関係をはっきりさせる働きをもっています。



(三) 次の書きかけの文の続きを下からさがして、線で結びましょう。

1 おいしそうなケーキだったが、

ぼくは、急いで家に帰った。

2 五時のサイレンが鳴ったので、

むし歯がいたくて食べられなかった。

3 もうじき三月になるというのに、

走っているうちにあたたかくなった。

4 日曜日には、スケートに行こうか。それとも、

まだ雪が残っている。

5 初めのうちは寒かった。けれども、

えい画を見ようか。

6 展望台に登った。すると、

花の水やりもした。

7 今日は、庭の草取りをした。それに、

青い海が見えた。



(四) 次の()にあてはまる言葉を、
の中から選んで書き入れましょう。

1 のどがかわいた。()、おなかもすいた。

2 ジュースを飲もうかな。()、牛にゆうを飲もうかな。

3 雨がやんだ。()、空に大きな虹がかかった。

4 あの選手は金メダルをとった。()、世界一の選手だ。

それとも すると つまり それに

(五) ()の中に入る文と文をつなぐ言葉を考え、書き入れましょう。

1 おじいさんは、耳が遠くなってきました。()、人の話がよく聞こえませぬ。

2 わたしは、新しいくつをもらいました。()、わたしの足にはちよつときゆうくつでした。

3 山下さんは、水泳が得意だ。()、絵を描くのも上手だ。



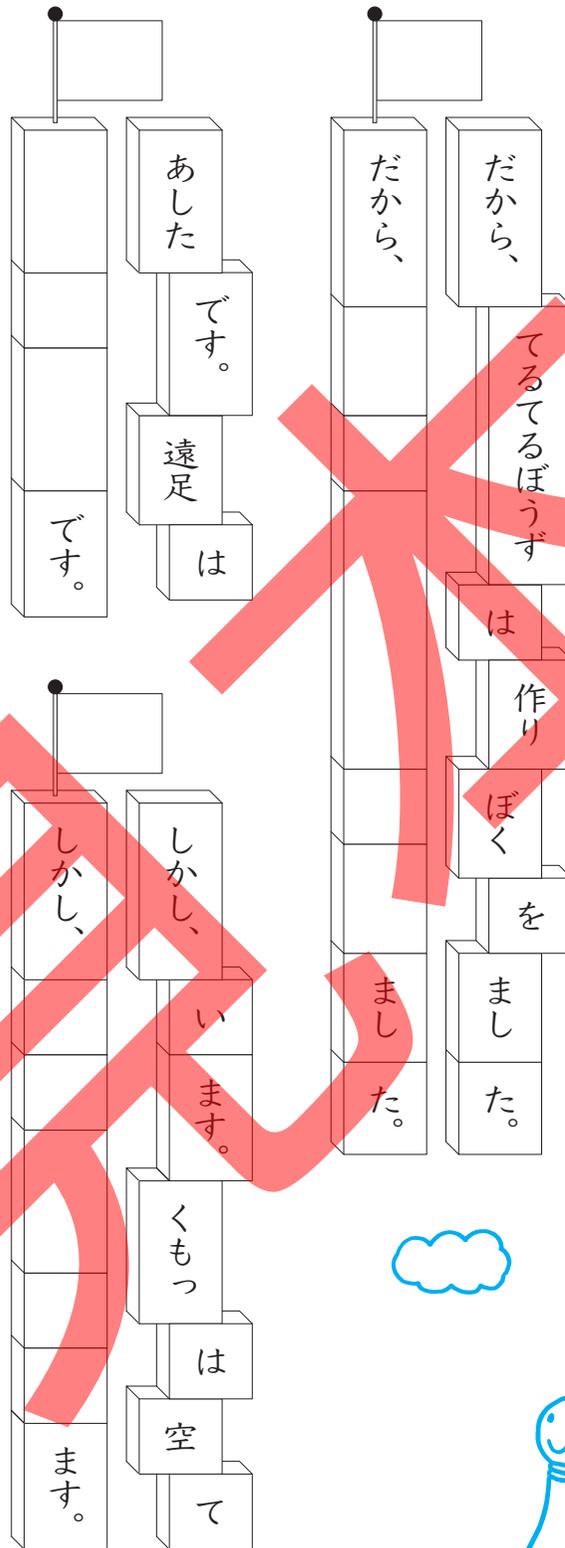
やってみよう 

「つながりを表す言葉」



(六) ①積み木の言葉をならべかえて、一つの文にしましょう。

②できた三つの文をならべかえて、意味の通じる文章にしましょう。
ならばかえの順しゅんじよを、積み木の上にある旗はたに、数字で書きましょう。



積み木のような言葉が集まって、意味のわかる一つのまとまりになり、「。」で終わったとき、そのまとまりを文といえます。

そうしてできた文が、「しかし」「だから」などの言葉で結びついて、意味の通じるまとまりになったものを文章といいます。





五 じゆく語の意味

「着席」「席順」のように、二字以上の漢字を組み合わせてできた言葉を、じゆく語といいます。たとえば「熱湯」というじゆく語の読み方や意味が分からなかったとき、どうしますか。そんなときは、漢字一つ一つの意味を考えてみましょう。

「熱」は「熱い」という意味をもつ漢字です。そして「湯」は「お湯」のことです。したがって「熱湯」は「熱いお湯」だということが分かります。

じゆく語の意味をとらえるときは、漢字一字ずつの意味だけでなく、漢字の組み合わせを手がかりにするとよいでしょう。じゆく語の漢字の組み合わせには次のような種類があります。

- ① 似た意味を表す漢字を組み合わせたもの。 「寒冷」(寒いと冷たい)
- ② 意味が対になる漢字を組み合わせたもの。 「強弱」(強いと弱い)
- ③ 上の漢字が下の漢字の意味をくわしく説明しているもの。 「熱湯」(熱いお湯)
- ④ 上の漢字が動作や作用を、下の漢字が「くを」「くに」を表すもの。 「乗馬」(馬に乗る)
- ⑤ 上の漢字が下の漢字の意味を打ち消しているもの。 「無色」(色が無い)

(一) 次の漢字と意味がにている漢字を、 の中からさがして、じゆく語を作りましょう。

1 思	6 決
2 学	7 救
3 競	8 同
4 衣	9 集
5 通	10 生

助考定等争習服合行産



(二) 次の漢字と意味が対になる漢字を組み合わせて、じゆく語を作りましょう。

6	天	1	大
7	売	2	姉
8	明	3	遠
9	終	4	内
10	苦	5	勝

(三) 次のじゆく語の漢字の組み合わせを、
 の中からさがして、番号で書きましょう。

1	1	投球
2	2	道路
3	3	前後
4	4	不安
5	5	直線
6	6	身体
7	7	点火
8	8	黒板
9	9	高低
10	10	未来
11	11	父母
12	12	鉄橋
13	13	登山
14	14	願望
15	15	不満

- ① 似た意味
- ② 意味が対になる
- ③ 上が下をくわしく説明
- ④ 下が上の動作や作用の対象
- ⑤ 上が下を打ち消す



(四) 次の二つの漢字を組み合わせて、じゆく語を作りましょう。また、読み方を()の中に書きましょう。

5	3	1
岩と石	兄と弟	古い巢 <small>す</small>
↓	↓	↓
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
()	()	()
6	4	2
足りない	体の温度	形が <small>か</small> 変わる
↓	↓	↓
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
()	()	()

(五) ()から漢字をえらんで、じゆく語を作りましょう。

(品・工・文)	1	<input type="text"/>	↓	<input type="text"/>	作	↓	<input type="text"/>	<input type="text"/>
(明・伝 <small>てん</small> ・小)	2	<input type="text"/>	<input type="text"/>	↓	<input type="text"/>	説	↓	<input type="text"/>
(成 <small>せい</small> ・実・結 <small>けつ</small>)	3	<input type="text"/>	<input type="text"/>	↓	<input type="text"/>	果	↓	<input type="text"/>



(六) 国語辞典や漢字辞典を使って、次のじゆく語の意味を調べましょう。またどのような組み合わせなのかも

考え、 から当てはまるものを選び、表に記号で書きましょう。

じゆく語	父母	着陸	願望	清流	老木	未完
意味						
組み合わせ						

〈組み合わせ〉

- ① にた意味
- ② 意味が対になる
- ③ 上が下をくわしく説明
- ④ 下が上の動作や作用の対しよう
- ⑤ 上が下を打ち消す





六 百人一首に親しもう

百人一首は「小倉百人一首」をもとにした遊びです。そのときによまれるのが短歌です。

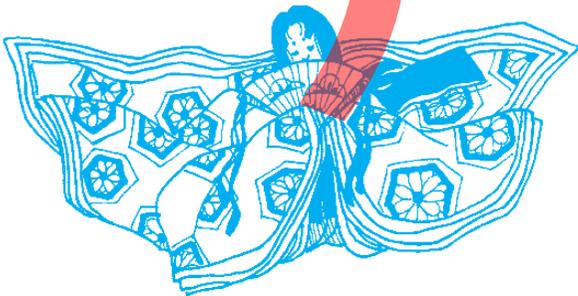
短歌は、五・七・五・七・七の三十一音で表げんされるのがふつうです。千年以上前から作られ、たくさんの人によまれてきました。短歌からは、日本語の美しさやリズムを感じ取ることができます。みなさんも、いろいろな短歌（百人一首）をよんでみましょう。

(一) 次の百人一首の音の区切りを——で分け、声に出してよんでみましょう。

1 夏の夜はまだよひながら明けぬるを雲のいづこに月やどるらむ
(い) (ず) (ん)

2 ちはやぶる神代も聞かずたつた川からくれなひに水くくるとは
(い) (ん)

3 ふくからに秋の草木のしをるればむべ山風をあらしといふらむ
(お) (う) (ん)



(二) 次の百人一首の上の句と下の句とを調べてつなげましょう。

(ア) 田子の浦に うち出でて見れば 白妙の

• ただ有明の 月ぞ残れる

(イ) ほととぎす 鳴きつる方を ながむれば

• 富士の高嶺に 雪は降りつつ

(ウ) 君がため 春の野に出でて 若菜つむ

• 声聞く時ぞ 秋は悲しき

(エ) 奥山に 紅葉踏み分け 鳴く鹿の

• わが衣手に 雪は降りつつ

(オ) 久方の 光のどけき 春の日に

• 花ぞ昔の 香にはほひける

(カ) 天の原 ふりさけ見れば 春日なる

• もれ出ざる月の 影のさやけさ

(キ) 人はいさ 心も知らず 古里は

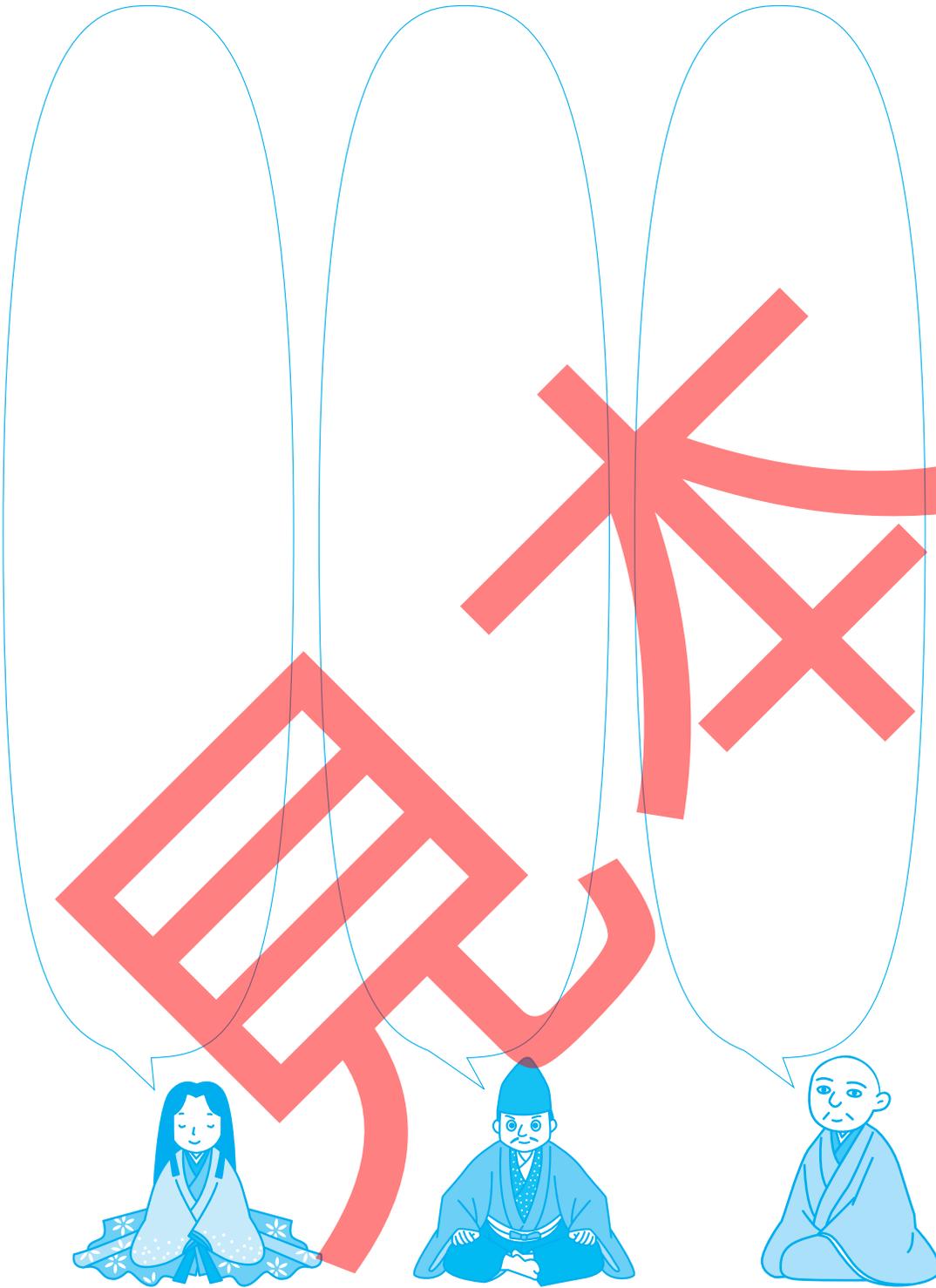
• しづ心なく 花のちるらむ

(ク) 秋風に たなびく雲の 絶え間より

• 三笠の山に 出でし月かも



(三) 百人一首を調べて書き出してみましょう。



見てみよう



NHK for School
おはなしのくにクラシック
「百人一首」



ちびおすドリル
「百人一首」
学習ポスター



七 同じ読み方の漢字



次の「かわ」「じんこう」という言葉を漢字で書きましょう。

1 「かわ」

りんごのかわをむく。
かわをわたる。

2 「じんこう」

日本のじんこうは、一億をこえている。
愛知用水は、じんこうの川です。

このように、読み方が同じでも、表す意味のちがう漢字がたくさんあります。言葉の意味を考えて、正しく使い分けをしましょう。

(一) 次の() に漢字を書きましょう。

1 た・つ

波が()つ。
ビルが()つ。

3 か・わる

だんだん色が()わる。
父に()わって、ぼくが行く。

5 はじ・めて

()めて百メートル泳いだ。
日記を()めて三年たった。

2 もの

乗り()
人気()

4 かえ・る

もとの持ち主に()る。
ふるさとに()る。

6 あ・ける

席(せき)を()ける。
夜が()ける。
戸を()ける。



(二) それぞれのかたかなの言葉を、文の意味をよく考えて線で結びましょう。

4	3	2	1
兄は足がハヤイ。	わたしは、かん境問題にカンシンがある。	今日は、コウガイ学習の日です。	今日の算数は、シヨウスウの勉強です。
楽しい時が過ぎるのはハヤイ。	ごみを進んで拾っている人にカンシンした。	コウガイで多くの人が苦しんでいます。	シヨウスウ意見もしっかり聞きましょう。
●	●	●	●
●	●	●	●
速い	早い	関心	感心
●	●	●	●
●	●	●	●
校外	公害	小数	少数

読み方は同じでも、意味がちがう言葉には、漢字一文字のものばかりでなく、二つ以上の漢字が組み合わさってできた言葉（じゆく語）にもあります。文の前後の関係をよく考えて使うことが大切です。



(三) 同じ読み方をする漢字をたくさん集めてみましょう。



(し)

例 (き) 木 (き)
気 (き)
汽 (き)

(と)

(かい)

(せい)





八 かなづかい

○「じ」と「ぢ」、「ず」と「づ」の使い分けには、次のようなきまりがあります。

・ふつうは「じ」「ず」を使います。

例) じめん(地面) ずがこうさく(図画工作)

・二つの語が組み合わさって生まれた「ぢ」「づ」は、そのまま「ぢ」「づ」と書きます。

例) はなぢ(鼻血) みかづき(三日月) みぢか(身近) きづく(気付く)

・同じ音が二回続くことよって生まれた「ぢ」「づ」も、「ぢ」「づ」と書きます。

例) 服がちぢむ。晴天がつづく。

(一) かなづかいの正しい方を○で囲みましよう。

1 地面

じめん
ぢめん

2 湯飲み茶わん

ゆのみじゃわん
ゆのみぢやわん

3 底力

そこぢから
そこちから

4 一人

ずつ
づつ

5 雨が

ふりつづく。
ふりつづく。

6 今日

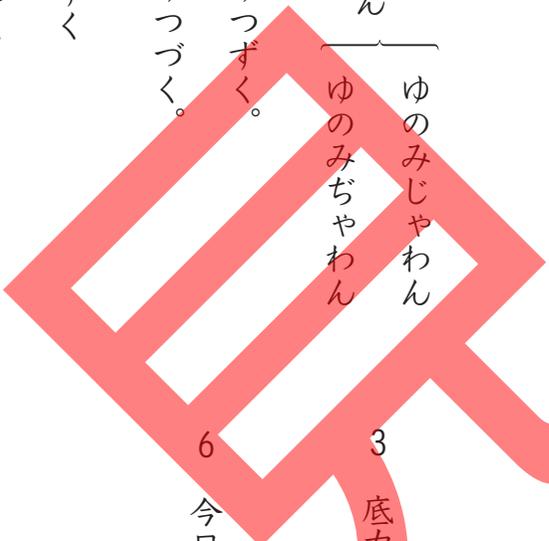
しづかだ。
しづかだ。

7 本を

かたづけ
かたづけける

8 春が

近づ
近づける





○ 長(なが)くのばす音(ね)はア段(だん)は「あ」・イ段(だん)は「い」・ウ段(だん)は「う」・エ段(だん)は「え」・オ段(だん)は「う」のかなをつけて書(か)きます。ただし、エ段(だん)の場合(ばい)は「ねえさん」・「ええ(返(かへ)事(じ))」・「ねえ(よびかけ)」以外(いがい)は、「い」と書(か)きます。

才(だん)段(れい)例(れい)外(がい)

とおい (遠(とほ)い) おおかみ おおぜい とおり (通(とほ)り) ほお おおきい とお (十(じゅう))
 こおり (氷(こおり)) おおい (多(た)い) こおろぎ そのとおり ほおずき

(二) かなづかいの正しい方を○で囲(かこ)みましょう。

1 王子(おうじ) おおじ
 2 通(とほ)る とおる
 3 多(た)い おおい
 おうい

4 ころろぎ こおろぎ
 5 わたしの ねいさん ねえさん

(三) 次の文の中(なか)からかなづかいのまちが(まちが)いを五(ご)つさがして×をつけ、右(みぎ)側(がわ)に正(ただ)しく書(か)き直(なお)しましょう。

ぢめんの みづたまりに おうきな みかずきが うつつていることに きずいた。



見てみよう



NHK for School
 ことばドリル
 「かなづかいのルール」



九 文末の言い方

(一) 次の文はどのような意味か、線で結びましょう。

あの薬はにがい。

あの薬はにがいかもしれない。

見たり聞いたりして「たぶん、にがい」と思っている。

あの薬はにがいらしい。

「きっとにがい」と思っている。

あの薬はにがいにはちがいない。

「もしかしたら、にがいのではないか。」と思っている。

あの薬はにがいそうだ。

「にがい」と聞いている。



文末の言い方によって、話し手や書き手がどのように思っているか、聞き手や読み手に伝わります。話を聞いたり文を読んだりするとき、また、自分が話したり書いたりするときには、文末の言い方に注意をし、正しく理かいたり、表げんしたりできるようにしましょう。



十 伝わりやすい文

(一) 次の文を漢字を使って書き直しましょう。そして書き直す前の文章と読みくらべてみましょう。

ー ははははははじょうぶだ。

()

()

漢字には、ことばの意味を分かりやすくする働きはたらとともに、文を読みやすくする働きはたらもあります。

(二) 次の文は、二通りの意味に読み取ることができます。漢字を使って、書き分けてみましょう。

ー くるまでまとう。

()

()

2 わたしはいしやになりたい。

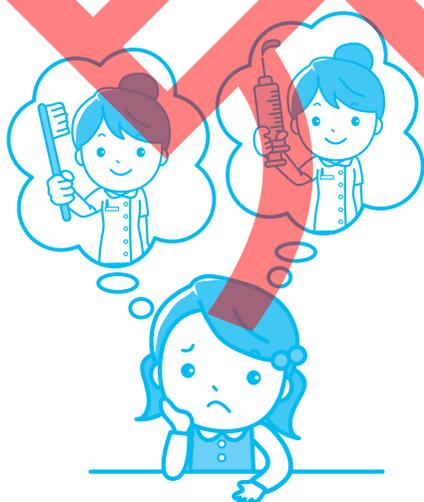
()

()

()

()

漢字を使うことで、文の意味を正しく伝えることができます。



5 次の言葉をキーボードで入力するとき、_____の部分はどうに入力しますか。ローマ字の大文字で書きましょう。

① こづつみ

② メロン

③ ちきゅう

KO _____ TUMI

MERO _____

_____ KYUU

④ ふぶき

⑤ しか

⑥ こうじちゅう

_____ BUKI

_____ KA

KOUJI _____

⑦ らっば

⑧ おとうさん

⑨ じゅうしょ

RA _____

O _____ SANN

_____ SHO

6 次の文をキーボードで入力するとき、どのように入力しますか。ローマ字の大文字で書きましょう。

① とても 暑い。

② 母の 歯は じょうぶだ。

③ きのう 発表会が あった。



練習してみよう



プレイグラムタイピング
「タイピング練習」



3 次のローマ字の読み方が同じものを二つ^{えら}選んで、○をつけましょう。

- ① usi uchi ushi uni
- ② tuki suki shiki tsuki
- ③ matti michi mati machi
- ④ futa huta huna kuma
- ⑤ inkan jikan zikan mikan



コンピュータで文を書くときは、キーボードを使います。
キーボードでローマ字入力を行うとき、習ったローマ字の使い方
とちがうときがあります。

4 次のキーボードで入力されたローマ字の言葉の読み方を、ひらがな
で書きましょう。

- ① ennsoku ② jannkenn ③ hanadi
() () ()
- ④ kataduke ⑤ kiwotukeru ⑥ jouro
() () ()
- ⑦ midika ⑧ tuduku ⑨ ojiisann
() () ()



11 ローマ字の書き方

1 次のローマ字で書かれた言葉の読み方を、ひらがなで書きましょう。

① inu

()

② kitte

()

③ anpan

()

④ rappa

()

⑤ bôsi

()

⑥ tyokin

()

⑦ hyakuen

()

⑧ gakkô

()

⑨ hon'ya

()

2 次の言葉をローマ字で書きましょう。

① マッチ

② しょうじょう

③ おちゃ

④ おねえさん

⑤ きっぷ

⑥ ひこうき

⑦ キャベツ

⑧ パンや



左のローマ字表を見て，正しく書く練習をしましょう。

	(大文字)	ア段 <small>だん</small>	イ段 <small>だん</small>	ウ段 <small>だん</small>	エ段 <small>だん</small>	オ段 <small>だん</small>	(ヤ)	(ユ)	(ヨ)
(大文字)	A	I	U	E	O				
ア行	a	i	u	e	o				
カ行	K	k							
サ行	S	s							
タ行	T	t							
ナ行	N	n							
ハ行	H	h							
マ行	M	m							
ヤ行	Y	y							
ラ行	R	r							
ワ行	W	w							
ン	N	n							
ガ行	G	g							
ザ行	Z	z							
ダ行	D	d							
バ行	B	b							
パ行	P	p							



Rômazi no hyô

	ア段 A	イ段 I	ウ段 U	エ段 E	オ段 O	(ヤ)	(ユ)	(ヨ)	
ア行	a	i	u	e	o				
カ行	K	ka	ki	ku	ke	ko	kya	kyu	kyo
サ行	S	sa	si	su	se	so	sya	syu	syo
タ行	T	ta	ti	tu	te	to	tya	tyu	tyo
ナ行	N	na	ni	nu	ne	no	nya	nyu	nyo
ハ行	H	ha	hi	hu	he	ho	hya	hyu	hyo
マ行	M	ma	mi	mu	me	mo	mya	myu	myo
ヤ行	Y	ya	(i)	yu	(e)	yo			
ラ行	R	ra	ri	ru	re	ro	rya	ryu	ryo
ワ行	W	wa	(i)	(u)	(e)	(o)			
ン	N	n							
ガ行	G	ga	gi	gu	ge	go	gya	gyu	gyo
ザ行	Z	za	zi	zu	ze	zo	zya	zyu	zyo
ダ行	D	da	(ji)	(zu)	de	do	(zya)	(zyu)	(zyo)
バ行	B	ba	(di)	(du)	be	bo	(dya)	(dyu)	(dyo)
パ行	P	pa	pi	pu	pe	po	pya	pyu	pyo

※ () 内はヘボン式の表記です。中学の英語では主となる表記です。

令和7年度版 ことばのきまり 4年

編集 「ことばのきまり」編集委員会
三河教育研究会

刊行 公益財団法人愛知教育文化振興会
〒444-0868 岡崎市明大寺町字馬場東170番地1
電話 0564-51-4819

印刷 合資会社永田印刷所

※無断で複写・複製することを禁じます。

※外部ホームページリンク先は、予告なく変更・削除されることもあります。





名 前

年

組

見本